

第45回全国豊かな海づくり大会第2回準備委員会 議事要旨（案）

【開催日時】令和6年8月20日（火） 10時00分～10時30分

【場 所】泉南府民センタービル1階多目的ホール（岸和田市野田町3-13-2）

【委 員】出席：15名（本人出席15名（うちWEB2名））

欠席：なし

【オブザーバー】出席：6名（本人出席2名（うちWEB1名）、代理出席4名（うちWEB1名））

欠席：1名

【内 容】

1 挨拶

原田環境農林水産部長

2 議事

(1) 第45回全国豊かな海づくり大会開催候補地（案）の選定について

(2) 第45回全国豊かな海づくり大会基本構想（案）について

- | |
|---|
| <p>○ 事務局から資料1及び資料2に基づき説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・大会名称の副題として、第1回準備委員会で承認された「<u>魚庭（なにわ）の海おおさか大会</u>」を記載・開催場所として、以下の候補地を記載
<u>式典行事会場：南海浪切ホール（岸和田市）</u>
<u>海上歓迎・放流行事会場：府営りんくう公園 シーサイドウォーク（泉佐野市）</u> <p>【大阪府市長会・町村長会（事務局長）】</p> <ul style="list-style-type: none">・開催候補地（案）については、この内容を本年秋に立ち上げる実行委員会に諮り、正式決定するという理解でよろしいか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none">・お見込みのとおり。 <p>⇒資料1 開催候補地（案）は、原案どおり実行委員会に諮ることを承認
資料2 基本構想（案）は、原案どおり実行委員会に諮ることを承認</p> |
|---|

(3) 第45回全国豊かな海づくり大会実行委員会の体制（案）について

- | |
|--|
| <p>○ 事務局から資料3に基づき説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・観光・外食分野として「（一社）KIX泉州ツーリズムビューロー」を追加・第1回準備委員会において調整中であった参与の大阪府政記者会各社について、社名及び役職を記載・幹事会構成員について、海上保安庁より警備体制の観点からオブザーバーとして参画が望ましいとの意見があったことから、「第五管区海上保安本部警備救難部警備課」を追加 |
|--|

- 第1回準備委員会でいただいた意見への対応について説明を行った。
- ・内陸部を含めた大阪府内全市町村の参画については、第1回実行委員会開催後に、別途府内市町村で機運醸成の検討会議を設置し、さらなる機運醸成の仕組みを検討していく。
 - ・学識経験者の参画については、大阪湾の状況等に知見のある大学教授などに必要に応じて知見を提供いただくことや、大会後の取組みを広く発信していただく機会となるよう検討していく。
- ⇒資料3 実行委員会の体制は、原案どおり事務局で進めていくことを承認

(3) その他

- 機運醸成に向けた検討会議について説明を行った。
- ・実行委員会設立後に府内 43 市町村で機運醸成に向けた検討会議を開催する予定としており、現在、事務局でも様々な機運醸成に向けた取組みを模索しているところ。
 - ・大阪府内の各市町村において実施されている豊かな海づくりにつながる様々な取組みについて、今後照会などをする予定としているので、ご協力をお願いする。

【阪南市都市整備部（部長）】

- ・阪南市では、海草であるアマモの保全再生活動に力を入れており、豊かな大阪湾の再生をめざし、子どもたちを主人公としたアマモの保全活動を行っている。
- ・2018年には全国アマモサミットの開催、2019年にはG20大阪サミットの配偶者プログラムでの発表、現在は市内全小学校全学年での海洋教育の推進など、積極的に子どもたちが取り組んでいる。
- ・本大会には大きな期待をしており、可能なら、お手渡しの中にアマモを選定いただければ、子ども達にとって何よりの励みになると考えている。
- ・本大会を通じ、大阪湾に残された貴重な自然海岸、アマモの保全再生活動につなげていくとともに、大阪湾全体でそれぞれの地域特性を活かしながら豊かな大阪湾を次世代に引き継ぐような取組みのきっかけにできればと思っている。

⇒各市町村におかれても、これらの情報を幅広く庁内で情報共有いただき、様々な取組みが起こっていくことを期待しているので、よろしく願います。

以上